

2021



# インターンシップ 実施報告書



特定非営利活動法人  
大学コンソーシアム大阪

はじめに

.....  
2021年度 インターンシップを終えて  
.....



特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪  
キャリア支援部会長 山本 俊一郎  
(大阪経済大学長)

大学コンソーシアム大阪では、2007年から主として大阪府下の各種企業や団体などの協力を得て、就業体験型インターンシップを開始しました。また、2009年からは、独自プログラムとしてプロジェクト型インターンシップを開始し、大阪の活性化をテーマに、学生の企画・提案を通してPDCAの実践を行ってきました。

昨年度はコロナ禍の影響で、実地体験を伴うプログラムを中止せざるを得ませんでした。今年度は例年通りのプログラムを実施し、学生にとっては実社会や「働くこと」に意識を向け、自己を振り返る好機となったことと思います。

参加した学生には実習での体験や得られた成果、課題を今一度見つめなおし、今後の学びや主体的な職業選択、ひいては高い職業意識の涵養に役立ててくれることを期待しています。

今後の事業実施にあたっては、インターンシップが大学教育の一環であることを念頭に、サポート体制の一層の充実をはかるとともに、自治体や企業と連携し、時宜にかなったものへと展開できるよう検討を行っています。

このコロナ禍において調整が困難な中、実習生を受け入れていただき、社会人として活動するための基礎力の養成にご尽力いただいた企業・団体の関係者の皆様に、この場をお借りして深く感謝の意を表します。

今後とも、本法人が実施するインターンシップ事業についてご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



# 目 次

I	概要および実施内容	
1	就業体験型インターンシップ .....	2
2	プロジェクト型インターンシップ .....	3
3	実施スケジュール .....	7
4	事前・事後研修 .....	8
II	実績	
1	学生参加状況 .....	10
2	エントリー企業・団体 .....	12
III	アンケート	
1	学生アンケート結果 .....	14
2	企業・団体アンケート結果 .....	19

# I 概要および実施内容

大学コンソーシアム大阪のインターンシップ・プログラムでは、「就業体験型インターンシップ」、「プロジェクト型インターンシップ」の2種類を設けている。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点よりやむを得ず中止し、代替としてオンラインにより学生と実社会をつなぐプログラムを試行したが、今年度は現在の社会情勢に鑑み、オンラインを活用しながら実施再開を果たした。

## 1 就業体験型インターンシップ

2007年から在阪の企業や官公庁等の協力のもと、学生の夏期休暇期間中に実施している。出願は、会員大学に在籍する全ての学生（院生、留学生含む）に門戸を広げ、職業・勤労観の養成と実社会への適応能力の育成を目指している。

今年度は対面プログラムを基本として実施したが、面接、事前・事後研修（交流会）は昨年のオンラインプログラムのノウハウを生かし、オンラインにて行った。

**【募集方法】** ポスター、リーフレット、ホームページにより募集

**【対象者】** 会員大学在籍学生 全学年（院生・留学生含む）

**【学生参加状況】** 10・11ページ参照

**【指導担当者】** インターンシップ推進委員

**【エントリー企業・団体】** 12・13ページ参照



## 2 プロジェクト型インターンシップ

学生たち自らが、私たちの街「大阪」が抱えるさまざまな課題について、「P (PLAN)、D (DO)、C (CHECK)、A (ACT)」を実践することで、にぎわいのある都市機能、時空間・仕組みづくりの具現化に貢献し、社会で活躍しうる能力を育成することに主眼をおいて構成された、大学コンソーシアム大阪独自のインターンシップ・プログラムである。2021年度は以下の内容にて実施した。

### 【プログラム名】

#### 西淀川区役所留学 2021。

「にしよどミライラボ構想プロジェクト」

### 【プロジェクトについて】

「にしよどミライラボ構想プロジェクト」

は、大阪市西淀川区役所との連携のもと、地域住民主体のまちづくり（住民自治）を

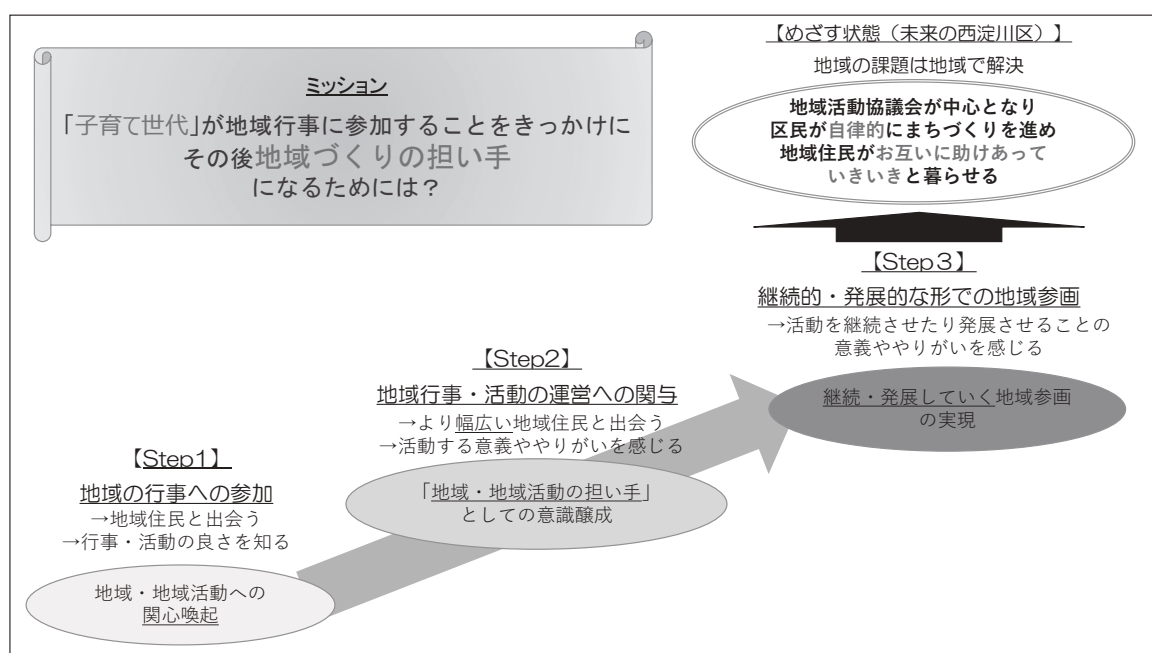
めざす西淀川区において、若者のコミュニティへの参画を促す仕組みを構想する。課題解決や、より良い未来の創造に参画・協働するための持続可能な地域プラットフォームを構想、仮構築、検証するプロジェクトである。



（最終成果報告会での参加学生および協力者の様子）

### 【プロジェクトのミッションとその背景】

今回のミッションは「子育て世代が地域行事に参加することをきっかけに、その後地域づくりの担い手になるためには？」である。区役所が地域団体へのヒアリング結果により把握している地域活動の課題は、役員の高齢化や一部役員への役職の集中による「地域活動の担い手不足」と、地域への帰属意識の低い住民が増加したことによる「地域活動への住民参加の低調」である。この課題をふまえ、めざす状態に向けて、3つのステップを設定した。（以下参照）



### 【参加学生】

10名（学年別：2年生2名/3年生7名/4年生1名）（男女比 6：4）

大学別：

大阪観光大学1名・大阪経済大学1名・大阪工業大学1名・大阪電気通信大学2名・  
大手前大学1名・近畿大学2名・四天王寺大学2名



### 【連携先】

大阪市西淀川区役所

### 【担当者】（敬称略）

総務課 担当係長 小林 久美子  
地域支援課 担当係長 松井 久仁夫

### 【協力先】（敬称略）

公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団） 事務局長 藤江 徹、谷内 久美子  
NPO法人にしよどにこネット 代表理事 福田 留美、その他スタッフ  
にこパパネット 山本 智宏

### 【指導担当】

NPO法人JAE キャリア教育コーディネーター 松田 雅子、角野 綾子

### 【スケジュール】

プログラムのスケジュールは、座学・フィールドワーク・地域団体インタビュー・チームでのディスカッション・報告会などで構成される、次ページの日程で実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学生の移動や外部との交流時間を最小限に止めるため、区役所との課題共有や地域団体へのインタビュー、中間報告会や最終成果報告会でのフィードバックはオンラインを活用して行った。



回	日時	テーマ	内容
1	8月23日(月)	オリエンテーション	1) プロジェクト内容の説明、目標設定 2) アイスブレイク、アイデア出しの練習 3) 西淀川区役所からミッションに関する説明、仕事での心構え等 4) フィールドワークの質問を考える
2	8月24日(火)	フィールドワーク①	1) 地域団体へのインタビュー（一部のメンバーは自転車ツアーに参加）
3	8月25日(水)	作戦会議①	1) あるべき未来の西淀川区を描く 2) インタビュー準備
4	8月26日(木)	フィールドワーク②	1) 地域団体へのインタビュー
5	8月27日(金)	フィールドワーク③	1) 地域団体へのインタビュー
6	8月30日(月)	作戦会議②	1) インタビューの振り返り（現状の確認） 2) 企画準備：チーム分け 3) 企画準備：課題を解決するためのアイデア出しとリサーチ
7	8月31日(火)	企画会議①	1) 企画の考察：企画概要を考える
8	9月1日(水)	企画会議②	1) 企画の考察：企画の具体化 2) プレゼンテーション準備
9	9月2日(木)	中間報告会	1) 中間プレゼンテーション 2) 企画へのフィードバック・修正
10	9月3日(金)	企画会議③	1) 企画修正 2) プレゼンテーション準備
11	9月6日(月)	最終成果報告会	1) プレゼンテーションのリハーサル 2) 最終の企画プレゼンテーション、表彰式 3) 最終振り返り

## 【成果報告】

上記スケジュールに基づく実習を経て、以下の3件の企画が提案され、各賞を授賞した。

ママさん学校 ～繋がれる場所づくりか ら地域の担い手へ～ (ナイス・プロジェクト賞)	地域活動協議会の運営によるママさん学校（「子育てママ」を対象とした様々な活動を行うサークルのような団体）の環境整備やSNSでの広報サポートを行う企画。地域の課題に関連した楽しいイベントへの参加を促したり、短期間の運営体験ができた、シニア層との交流の機会を作ったりすることで、地域への関心喚起をはかる。
つながれ地域！ つながるコミュニティ！ (ナイス・プレゼン賞)	赤ちゃんが生まれた家庭に、子育てコミュニティの担当者が訪問し、イベントを案内したり、アンケートを行うことで地域活動につなげると同時に、子育て世代のニーズを把握。さらに、SNSを活用し、子育て世代や外国人等を対象に、各ターゲットのニーズに合わせた情報発信を行う企画を提案。
一緒にまちをつくるで！ ～まちづくり団体立ち上 げ支援～ (ナイス・アイデア賞)	区が地域活動協議会と連携し、子育て世代の参加をねらって新規団体の立ち上げを支援する企画。第一段階として、親子で楽しめるイベントを企画。第二段階として、地域活動参加中に連携団体による子ども預かりサポート等を提供。第三段階として、「目に見えるまちづくり」の運営体験ができる仕組みづくり等を企画提案。



## 【まとめ】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学生の移動や区役所・外部団体との対面交流を極力控え、オンラインを活用する形でプロジェクトを実施したこともあり、特にスタート段階では、学生が「西淀川区」という地域について実感を持って理解したり、「区役所」という立場を体感することに困難を感じている様子が見られた。その後、オンラインで地域団体の方にインタビューを行ったり、区役所のメンターの方とやりとりする中で、徐々に地域や区役所の仕事に対しての実感・理解が深まっていたように見受けられた。ただ、オンラインということもあり、メンターとのちょっとしたやりとりや雑談なども難しい状況だったため、メンターの人となりや区役所職員としての仕事観に触れることが、対面交流と比較すると難しかったと推察される。また、オンラインの活用に伴い、IT機器の準備・調整やそれに伴うスケジュール調整をする必要が生じたため、運営側や連携先の関係者の関与時間が例年に比べて大幅に増加することになった。今後もこのようなオンラインを活用する状況が継続すると仮定した場合、運営体制や実施形態をどのようにしていくかについて、検討の必要があるだろう。

プロジェクト全体を通しての学生への効果については、最終のふりかえりに書かれた学生の感想では、「やりきった」という言葉と共に「改善点が見つかった」「もっと良くしたい」という趣旨の記述もあり、達成感を感じつつも、今後に向けての課題も発見できた様子が見受けられた。公務として実際に公共政策を実行していくことの意義と同時に難しさも実感し、「働くとは何か」「公務員とは何か」についての理解と実感が深まったのではないだろうか。参加学生の半数が公務員や地域の活性化に興味を持ち、将来の進路の選択肢に入れている学生であったため、今後の進路を考える上でも非常に有用な機会になったと考えることができる。

また、連携先（大阪市西淀川区役所）からは、「実現に向けてぜひ検討したいと思うようなアイデアもあった」「学生の既成概念にとらわれない発想に触れることで、自分自身の仕事の進め方について見つめ直す機会になった」等、プロジェクトの意義を評価する声が聞かれた。今回は準備段階において、実施体制の変更が生じたが、今後の方向性や実施体制についても関係者との協議をふまえて検討していく必要があると考える。

（NPO 法人 JAE 松田 雅子氏、角野 綾子氏 作成報告書より抜粋）


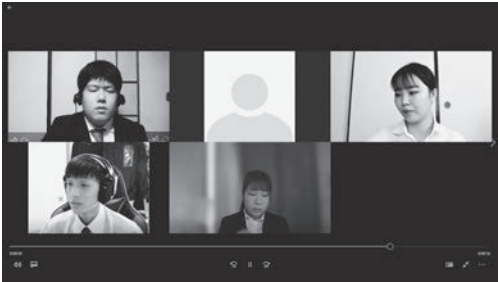

### 3 実施スケジュール（就業体験型・プロジェクト型共通）

日 程		大学コンソーシアム大阪 事務局	学 生	大 学	企業・団体
2月					
3月	中旬 24日	水	募集ガイド受領（大学→）	募集ガイド配布・周知（→学生） 事業説明会出席	エントリー
4月					↓
5月	上旬		企業・団体情報 HP 公開	企業・団体情報 HP 閲覧	5月7日締切
	12日 15日	水土	学生向け説明会（オンライン：ZOOM）※希望者のみ		
	12日	水		出願期間	出願票確認・Web承認
	28日	金		↓	5月28日締切
	31日	月			↓
6月	2日	水	面接案内送付（→学生、大学）	面接案内受領（コンソ→）	面接案内受領（コンソ→）
	6日	日	面接（オンライン：ZOOM）		
	17日	木	選考結果通知（→学生、大学）	選考結果受領（コンソ→）	選考結果受領（コンソ→）
	18日	金	実習生情報通知（→企業・団体）		実習生情報受領（コンソ→）
	21日	月		実習日程調整（→企業） 実習日程報告（→コンソ） 6/21～6/30	実習日程調整（学生→） 6/21～6/30
	30日	水			
7月	4日	日	事前研修（オンライン：ZOOM）		
			三者間協定 手続 ※実習開始までに	三者間協定 手続 ※実習開始までに	三者間協定 手続 ※実習開始までに
8月			実習期間 8月上旬～9月中旬	実習期間 8月上旬～9月中旬	
9月	中旬				
	26日	日	事後研修・報告会（オンライン：ZOOM）		
	下旬				実習日誌・評価表送付（→コンソ） 実習終了後～9月末
10月	上旬		実習日誌・評価表 受領（企業・団体→） 送付（→大学）	実習日誌・評価表 受領（コンソ→） 返却（→学生）	調査票送付（→コンソ）
	中旬～ 下旬		実習日誌・評価表受領（大学→）		
11月					
12月	中旬		実施報告書作成・送付 （→企業・団体、大学）	実施報告書受領（コンソ→）	実施報告書受領（コンソ→）

## 4 事前・事後研修

1) 事前研修 7月4日(日) 10:30～15:00 実施

【場所】オンライン (ZOOM)

内 容	目的等
オリエンテーション (5分)	研修スケジュールおよび概要説明。 プログラムに臨む心構えを学ぶ。
先輩に学ぶ インターンシップ (55分)	実際にインターンシップを体験した先輩の話聞くことにより、実習のイメージをつかむ。 
ケーススタディ (80分)	実習で起こりうるトラブルを具体的に想定。 グループでの意見交換を通じて、事前課題で学んだ内容を振り返るとともに、多様な考えに接し、自身の実習に活かす。 
目標設定 (40分)	他の学生と目標を共有し、実習に向けて自身の目標を明確にする。 



事前課題：以下のオンデマンド動画を視聴のうえ、必要な知識、素養の獲得につとめる。

(1) ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング (80分)

ビジネスマナーの基本を学び、対人関係におけるコミュニケーション能力を養う。

(2) リスクマネジメント・企業理解 (60分)

インターンシップに参加する意義、職場における基本的ルール、個人情報や営業秘密の取り扱い、SNS利用上の注意点などについて理解し、想定されるリスクへの対応力を高める。

内 容	目的等
グループワーク・発表 (90分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実習体験と、そこから得られたことを共有し、自身のキャリア形成にどう具体的に活かせばよいかを考える。</li> <li>• 実習において“得たもの”、“学んだこと”、“足りなかったこと”を振り返ってディスカッションを行い、総括とする。</li> <li>• 各グループにおいて「わたしが感じた社会人に必要な力とは」をテーマとして発表を行い、講師からのフィードバックを受け、気づきを深める。</li> </ul>
企業講演 (40分)	<p>新しい時代の「働く」とはどのようなことかについて、採用側の立場からの話を聞き、求められる人材像についてイメージをつかむ。</p> <p>講師：株式会社スーパーホテル 総務部 課長代理 山本 洋子氏</p>  
情報交換・交流 (60分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 実習生、受入企業・団体担当者、大学担当者による情報交換・交流の場を設定。</li> <li>• 企業講演の感想を共有のうえ、インターンシップの経験をどのように生かしていくかや「働くこと」の意義について意見交換を行い、学びを整理する。</li> </ul>  

## Ⅱ 実績

### 1 学生参加状況

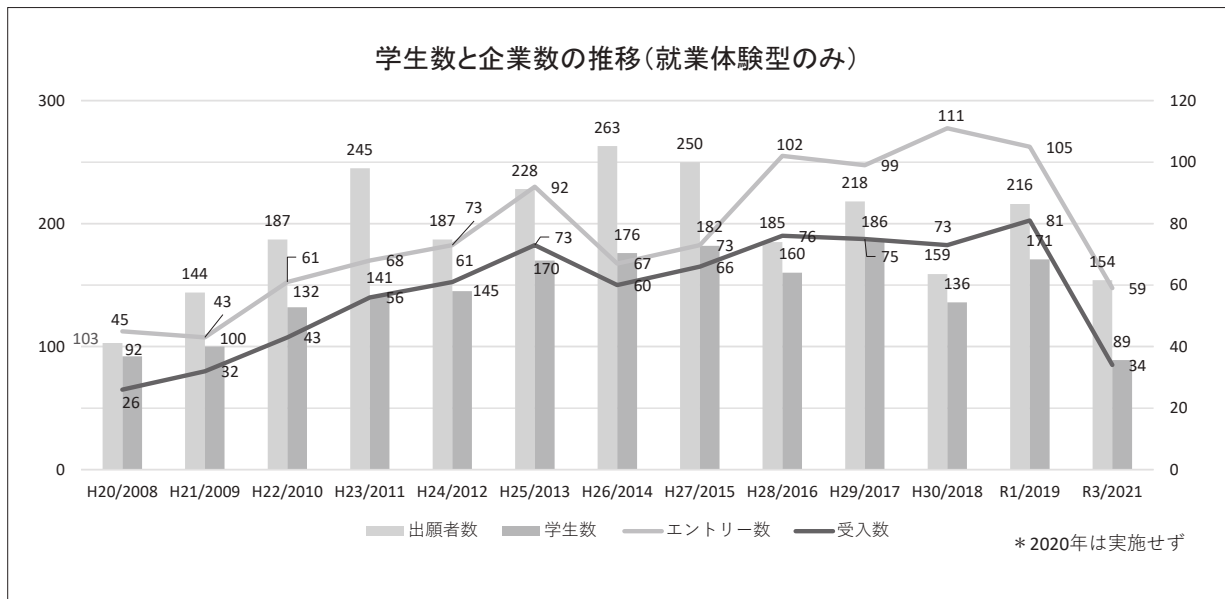
#### ■大学別

大学名	就業体験型 出願者数	PJ型 出願者数	実習者数	大学名	就業体験型 出願者数	PJ型 出願者数	実習者数
大阪大学	1		1	大阪成蹊大学			
大阪教育大学				大阪総合保育大学			
大阪市立大学	7		5	大阪体育大学	1		
大阪府立大学				大阪電気通信大学	34	2(2)	21
藍野大学				大阪人間科学大学			
追手門学院大学	1			大阪保健医療大学			
大阪青山大学				大手前大学	5	0(1)	3
大阪医科薬科大学				関西大学			
大阪音楽大学				関西福祉科学大学	4		3
大阪学院大学	3		1	近畿大学	11	2(2)	10
大阪観光大学	3	1(1)	2	四條畷学園大学			
大阪経済大学	15	1(1)	10	四天王寺大学	8	2(2)	9
大阪経済法科大学				摂南大学	1	1(0)	2
大阪工業大学		1(1)	1	千里金蘭大学	5		5
大阪国際大学	1		1	相愛大学	4		3
大阪産業大学	1		1	梅花女子大学			
大阪樟蔭女子大学	6	1(0)	6	阪南大学	38		11
大阪商業大学	3		2	東大阪大学			
大阪女学院大学	1		1	森ノ宮医療大学	1		1
				計	154	11(10)	99

\*宝塚大学（10月1日入会のため）含まず

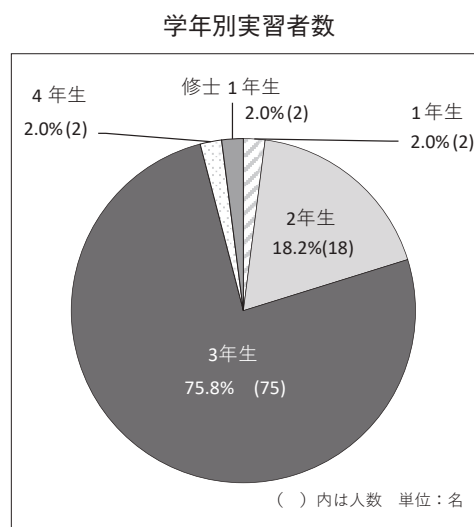
実習者89      実習者10      ↑PJ型実習者10名を含む

• 併願5名、専願6名  
• ( ) 内は実習者数



■学年別（PJ型を含む／出願者数は実数）

学年		男子	女子	合計	全体に占める割合
1年生	出願者数	1	3	4	2.4%
	実習者数	0	2	2	2.0%
2年生	出願者数	10	23	33	20.0%
	実習者数	2	16	18	18.2%
3年生	出願者数	71	53	124	75.2%
	実習者数	41	34	75	75.8%
4年生	出願者数	2	0	2	1.2%
	実習者数	2	0	2	2.0%
修士1年生	出願者数	0	2	2	1.2%
	実習者数	0	2	2	2.0%
合計	出願者数 (うち留学生2人)	84 (うち留学生2人)	81 (うち留学生3人)	165	100.0%
	実習者数 (うち留学生1人)	45 (うち留学生1人)	54 (うち留学生3人)	99	100.0%



■学部別実習者数（PJ型を含む）

学部名	人数	学部名	人数
総合情報学部	21	流通学部	2
経済学部	13	観光学部	1
経営学部・経営研究科	8	教育学部	1
学芸学部	5	健康栄養学部	1
人文社会学部	5	建築・芸術学部	1
生活科学部	5	現代社科学部	1
情報社会学部	4	公共学部	1
法学部	4	工学部	1
健康福祉学部	3	国際・英語学部	1
国際コミュニケーション学部	3	国際教養学部	1
国際観光学部	3	国際交流学部	1
文学部	3	人文学部	1
経営情報学部	2	総合文化学部	1
人間科学部・人間科学研究科	2	デザイン工学部	1
人間発達学部	2	保健医療学部	1
		合計	99



## 2 エントリー企業・団体

エントリー数 59、送り出し数 34

※企業・団体名50音順

No.	企業・団体名	実習者数	No.	企業・団体名	実習者数
1	株式会社アイティープランニング	1	31	鈴木合金株式会社	0
2	社会福祉法人あかつき福祉会	0	32	摂津市役所	0
3	株式会社インクルージョン	0	33	特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪	2
4	上田製袋株式会社	0	34	株式会社 TAKUTO	2
5	エース設計産業株式会社	0	35	学校法人谷岡学園	1
6	愛媛県大阪事務所	0	36	チトセ工業株式会社	0
7	株式会社エフ・ラボ	3	37	寺崎電気産業株式会社	1
8	一般財団法人大阪教育文化振興財団	3	38	東果大阪株式会社	7
9	大阪司法書士会	2	39	豊中市役所	0
10	大阪信用金庫	9	40	特定非営利活動法人与なかな市民環境会議アジェンダ21	2
11	大阪中央ダイカスト株式会社	0	41	豊中市立文化芸術センター	7
12	大津観光株式会社里湯昔話雄山荘	1	42	社会福祉法人長野社会福祉事業財団	1
13	株式会社カースキャリアセンター	1	43	株式会社ナフコ	0
14	金井ホールディングス株式会社	0	44	株式会社日刊工業新聞社	2
15	奈良県川西町役場	0	45	ビーイングホールディングス株式会社	2
16	株式会社かわべフードサービス	2	46	NPO 法人ピープルアクティブライフ	2
17	関西福祉科学大学図書館	1	47	株式会社ヒッツカンパニー	4
18	岸和田商工会議所	1	48	株式会社フジタカ	0
19	共栄ダイカスト株式会社	0	49	株式会社藤原設計	0
20	紀洋木材株式会社	0	50	放送文化総研有限会社	2
21	共和技術工業株式会社	0	51	社会福祉法人豊年福祉会	0
22	協和テクノロジズ株式会社	1	52	有限会社南歯車製作所	2
23	大阪府泉南郡熊取町役場	0	53	守口市役所	0
24	株式会社クラックスシステム	3	54	株式会社八尾金網製作所	0
25	栗本建設工業株式会社	0	55	八尾市役所	5
26	株式会社グルメ杵屋	2	56	株式会社箭木木工所	1
27	株式会社甲和ビルド	4	57	株式会社遊文舎	0
28	社会福祉法人堺暁福祉会特別養護老人ホーム遊づる	1	58	吉岡建設株式会社	0
29	株式会社ジオリゾーム	2	59	株式会社ロードカー	3
30	株式会社スーパーホテル	7	合 計		90

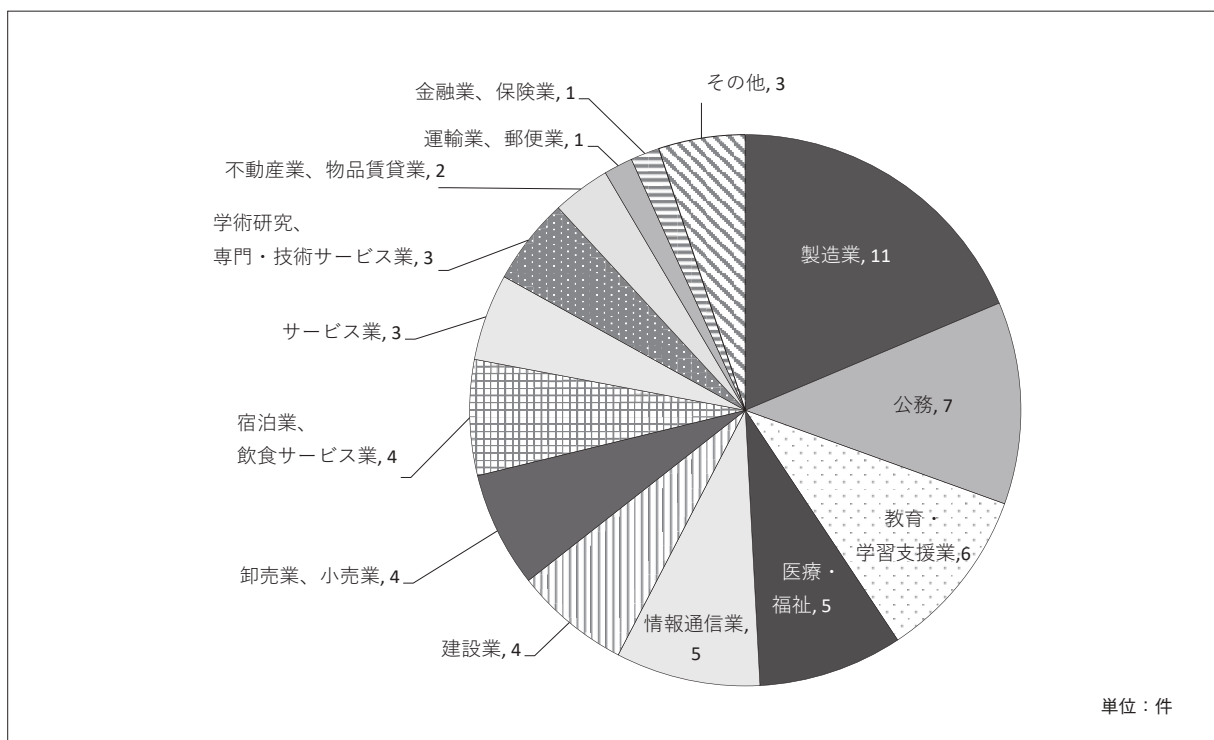
※途中辞退者は除く

※1名重複（かわべフードサービス・東果大阪）



## 【エントリー企業・団体 業種別】

〈59企業・団体〉

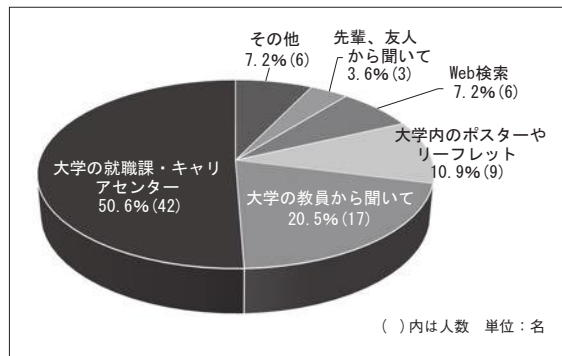


業 種	企業・団体数
製造業	11
公務	7
教育・学習支援業	6
医療・福祉	5
情報通信業	5
建設業	4
卸売業、小売業	4
宿泊業、飲食サービス業	4
サービス業	3
学術研究、専門・技術サービス業	3
不動産業、物品賃貸業	2
運輸業、郵便業	1
金融業、保険業	1
その他	3
合 計	59

### Ⅲ アンケート

#### 1 学生アンケート結果（回答者数 83 名）

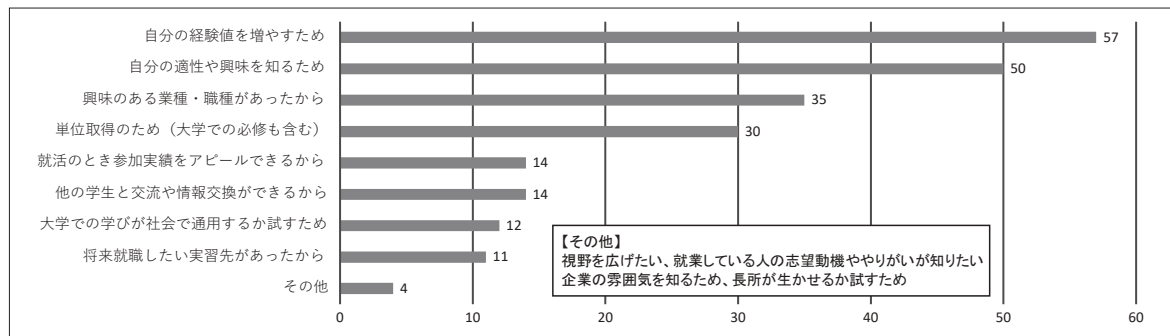
##### 1. このインターンシップ・プログラムを知ったきっかけ



その他：授業で聞いた。単位認定科目のため。

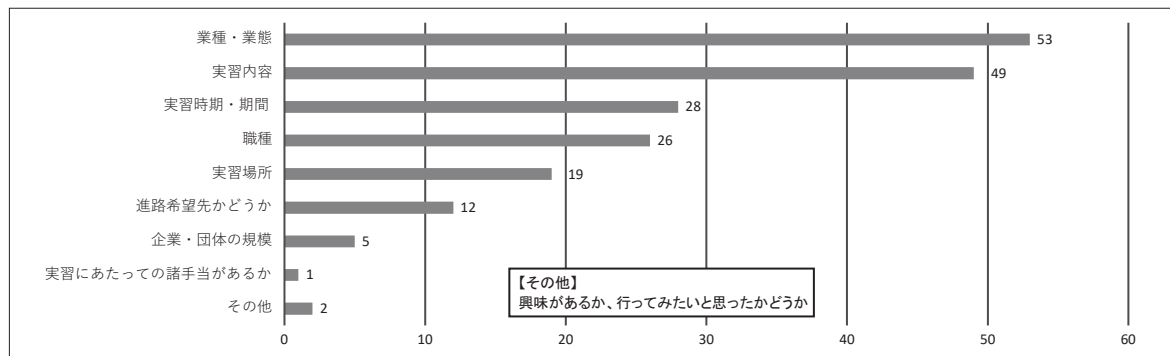
##### 2. インターンシップ・プログラムに参加した理由（複数回答可）

単位：名

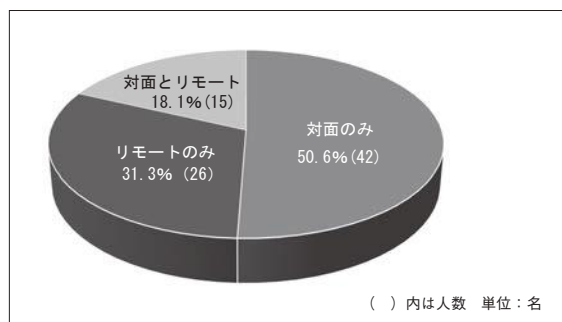


##### 3. 実習先を選択した際の優先項目（複数回答可）

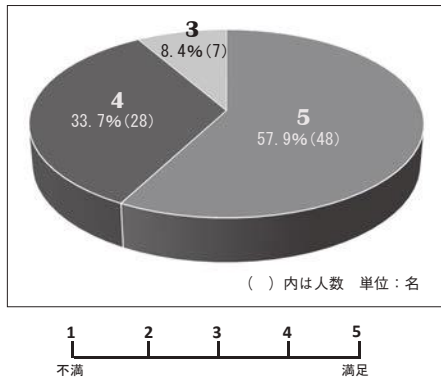
単位：名



##### 4. 実習形式



## 5. 実習内容の満足度



⇒ その理由 (抜粋)

【満足度 5・4】

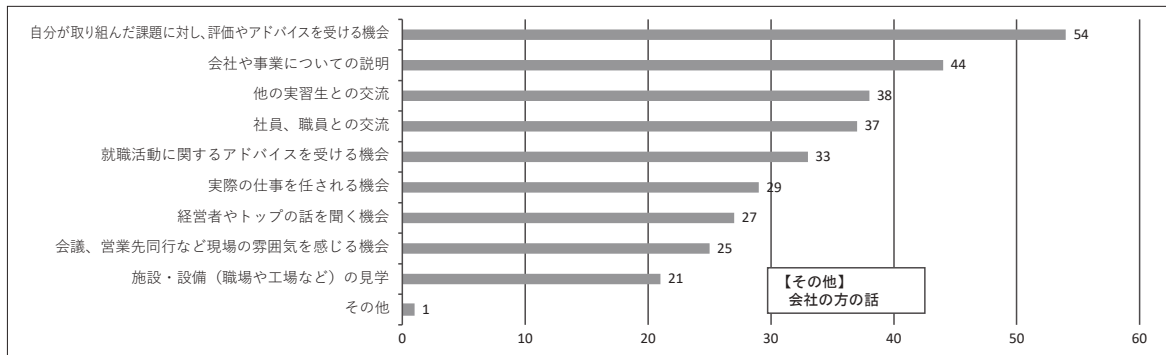
- 就職活動においてかなり視野を広げられた。
- 自分のできることやできないことがはっきりと分かった。
- その業界ならではの専門的な知識・業務内容を学ぶことができ、私自身の適正にあっているかどうかを確認できた。
- 他大学の学生と様々な交流ができ、目標達成できた。
- 仕事内容の丁寧な指導はもちろんのこと、自分の就活についてなども親身になって聞いてもらえた。
- リモートの実習は、対面に比べ物足りない部分があると思っていたが、リモートでも十分に企業について理解し、いい経験になった。

【満足度 3】

- リモートだったので、実際の現場を体験できず残念だった。
- 自分の志望する仕事とは違うと感じた。

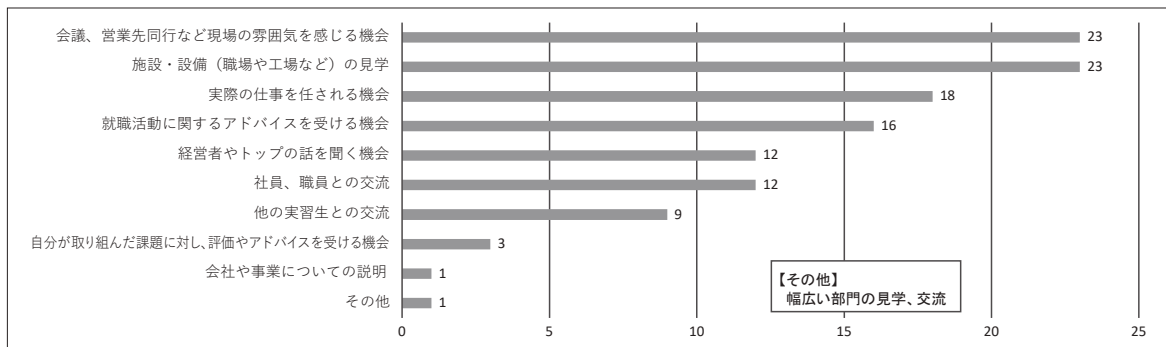
## 6. 実際の実習内容でよかったもの (複数回答可)

単位：名

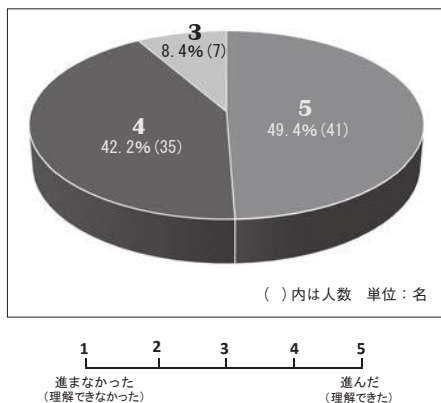


## 7. 実際の実習内容にはなかった内容で、あればいいなと思ったもの (複数回答可)

単位：名



## 8. 実習先の業種について、実習前と比べ、どの程度理解が進んだか



⇒ その理由 (抜粋)

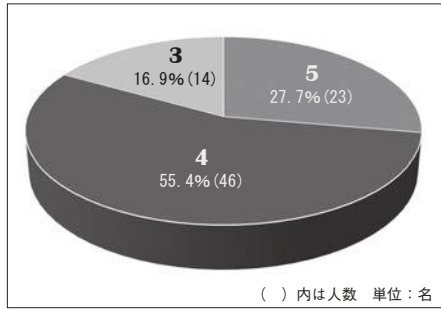
【理解度 5・4】

- 講義形式で業種についての説明を時間をかけてしていただいたので、よく理解できた。
- 実際に働いていらっしゃる方のお話を聞き、強みや弱み、業界の状況を詳しく知ることができた。
- 実際に会社訪問をさせていただいて、ぼんやりしていたものが鮮明になった。
- リモートであるからこそ分かりやすいようにお話してくださったので十分に理解することができた。

【理解度 3】

- 事前に自分で企業を調べていなかったため、理解不足があった。
- リモートでの実習であったため、会社内の雰囲気がわかりづらいところがあった。

## 9. 実習前に立てた目標はどの程度達成できたか



⇒ その理由 (抜粋)

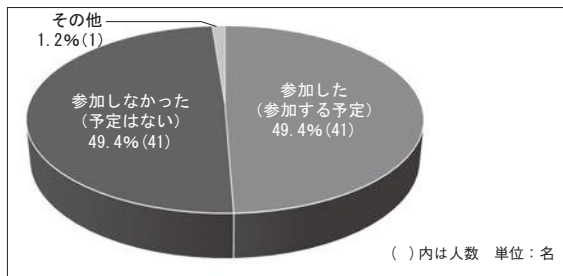
【達成度 5・4】

- グループワークを通し、コミュニケーション能力の向上、また最終課題の取り組みにあたり企画立案の方法、課題解決能力を得ることができた。
- グループでプロジェクトをきちんと進行させ、達成してみたいという目標を持って臨んだ結果、自分の役割をこなすことができた。
- スピーチ力やコミュニケーション力など、向上させたいと思っていた力が向上したと感じた。
- 自らが主体となって考え、他者を引っ張って行動できた。
- 時間を守ることなど規律性が身についた。

【達成度 3】

- 緊張や不安で思うように行動できなかった。
- もう少し自己分析や業界についての知識、理解を深めておけばよかった。
- 社会人として働くには自分に何が足りないのかは理解できたが、実習ではそれを改善するまでには至らなかった。
- 積極的な行動を心掛けていたが、思ったように行動することができなかった。

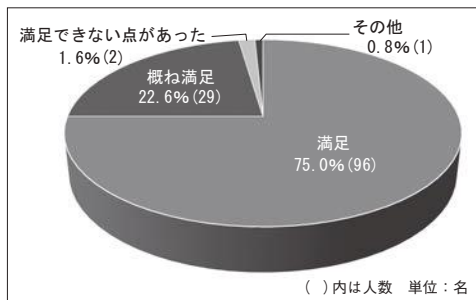
## 10. 別のインターンシップへの参加状況 (2021年夏季～秋季)



その他：1 DAYのオンライン説明会などに参加した。

## 11. 事前研修について (回答者数 128名)

【全体の満足度】



その他：前半のみ参加のため。(回答できない)

⇒ その理由 (抜粋)

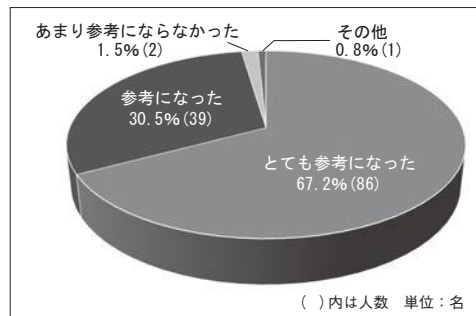
【満足・概ね満足】

- 先輩方の話を聞けたことに加え、グループワークで情報共有や意見交換もできた。
- 社会人に求められる「ほうれんそう」がとてもよく理解できる研修だった。
- 疑問点の解決、経験のないオンラインでのグループディスカッションなど、経験できた。
- 普段は関わるることのできない他大学の方と交流できたり、知らない人とオンラインで話すとても感じなのかという感覚が掴めた。
- インターンシップでの学びや研修時のトラブルの対応など、インターンシップを経験する前に、様々なことを得たり、知ることができた。
- インターンシップ実習に対する不安を解消できただけでなく、目標やそのための計画を他の実習生と共有しながら深めることができた。

【満足できない点があった】

- 内容としては満足できたが、少し休憩が少なくてしんどいなと思った。
- 最後の個人目標のところまで時間が足りなかったという点が残念だった。

【先輩に学ぶインターンシップについて】



その他：カメラの不具合がありあまり聞けなかった。

⇒ その理由 (抜粋)

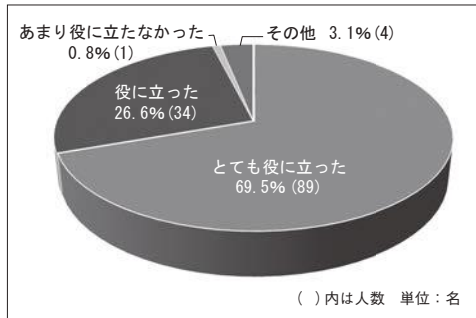
【とても参考になった・参考になった】

- 楽しかったことだけでなく、失敗談も聞くことができたのでとても参考になった。
- 先輩方も自分と同じ気持ちだったと知って、自分もがんばればこうなるのではという自信に繋がった。
- 実習中の過ごし方や、得られたもの、それをどう活かすことができたのか具体的に聞くことができ、理解が深まった。
- 質問に多く答えてくれたおかげで、ネットなどでは知れない細かいことまで教わることができた。
- インターンシップ先が必ずしも自分の目指す職業ではないが、自分から行動し、様々な場面を知ることが必要だと学んだ。
- お話の中で「インターンシップを通して自身の客観的な評価や特性を知ることができる」ということが特に印象に残った。

【あまり参考にならなかった】

- もう少しインターンシップ先の業界が分かれていて、具体的な内容が聞ければよかった。
- 質疑応答時間がもう少し欲しかった。

## 【ケーススタディ・目標設定（グループワーク）について】



その他：不参加、早退

### ⇒その理由（抜粋）

#### 【とても役に立った・役に立った】

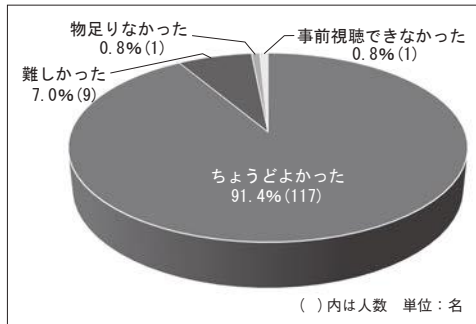
- 他の人の意見が違う時もあり、「そういう考えもあるんだ」と広い視野で物事を捉える重要性について学べた。
- 自分の目標を改めて確認できる良い機会になった。また、さまざまな意見が聞けたので面白かった。
- 自分の目標を明確にすることにより、インターンシップに参加する意義などを再確認することができた。
- 先生によるフィードバックもとても有意義で、学びがあった。
- 定められた時間でグループの中で答えをまとめる練習になった。

#### 【あまり役に立たなかった】

- もう少し探る時間が欲しかった。

## 【事前学習動画の難易度について】

### ビジネスマナー・コミュニケーショントレーニング



### ⇒その理由（抜粋）

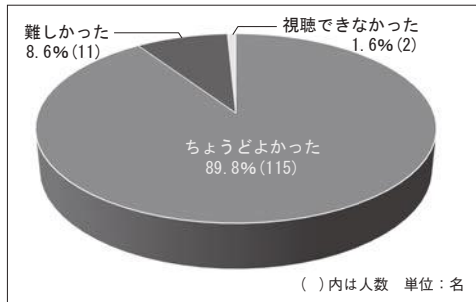
#### 【ちょうどよかった】

- 言葉遣いや礼儀など、とてもわかりやすく説明してある動画だった。
- 少し覚えることが多くて難しかったが、動画なので理解するまで何回でも見ることができた。
- 動画の内容には勘違いしていたことや改めて確認すべきことが多く、とても参考になった。

#### 【難しかった】

- 動画が長く、完璧には覚えられなかったが、就活までにはマスターしたい。
- 実際にできるかどうか不安だ。

## 企業理解・リスクマネジメント



### ⇒その理由（抜粋）

#### 【ちょうどよかった】

- ダメなことは理解できていたが、なぜダメなのかをきちんと知ることができた。
- SNSの使い方は当然のことだが、自分でも気づかないうちに会社のことを少し言っていたりすることがあるかもしれないので気をつけようと思った。
- 企業がわざわざ手間をかけてくださっている心に感謝の気持ちをもって実習に挑むことが必要であるとわかった。
- 相手より先に自分が損する方が得ということが知れて、これから知識として使おうと思った。

#### 【難しかった】

- 実際はどうかイメージが湧かなかった。
- 内容が少し難しいこともあり、大まかにしか理解できていないかなと感じたが、受けたことでこのようなことには絶対に注意しようと思ったのでとてもよかった。

## 【事前研修についての感想・意見】

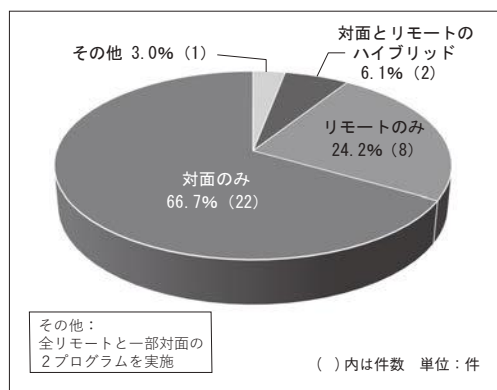
- 対面ではなかったが、他の学生と話せてよかった。
- 自分の弱みや目標を口に出すことでより一層やる気が高まりよい機会になった。知らない人と話すのにも少し慣れたし、動画で学習もできてとてもよかった。
- インターンシップに参加する他の学生と意見を交換し合う機会は、とても貴重だと感じた。また、大学は違えど同じように目的や課題を持って参加する学生がいるということに、不安がなくなった。
- 全体を通じてとても意味のある研修だと感じ、ここで得たものは必ずインターンシップで生きてくると考えているため、本日やった内容に関してはしっかりと理解して企業に行きたいと考えている。
- グループワーク、先輩経験談、どれも貴重な出会いだった。自身の成長につながったように思う。
- グループのディスカッションに使われたブレイクアウトセッションが、15分の時間設定が表示されているのに気づいたのが2回目のときで、1回目にはグループ内での終わりの挨拶ができなかったので、予め時間の表示があることを伝えておいてほしかった。



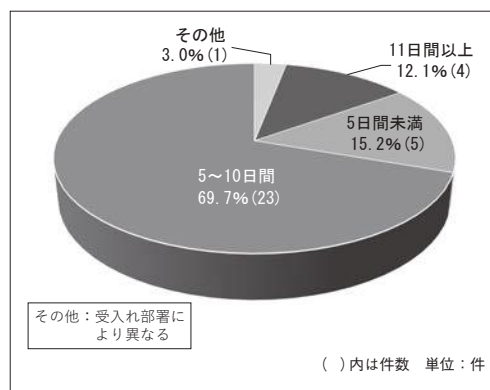


## 2 企業・団体アンケート結果（回答件数 33 件）

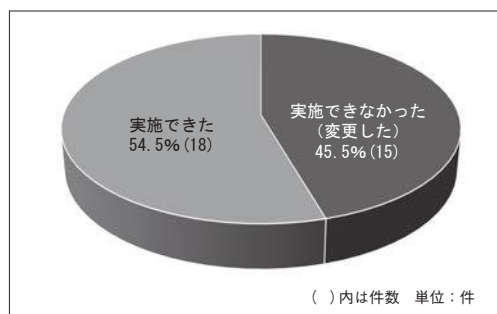
### 1. プログラムの実施形式



### 2. プログラムの実施日数（実働）



### 3. 当初の予定通りの日程で実施できたか



#### 【予定通り実施できなかった理由】

- 社内でコロナ陽性者が出た。
- 実習生がコロナの濃厚接触者となった。
- 社内での感染拡大防止目的。
- 学生の体調不良。大学の要請で対面インターンシップが中止になった。
- 緊急事態宣言発令となった。
- 人数制限により、会場が確保できなかった。
- 参加予定の学生が参加できなくなった。
- 弊社の作業内容量の把握が甘かった。
- リモート実習に切り替えた。
- 台風による交通機関の運休。

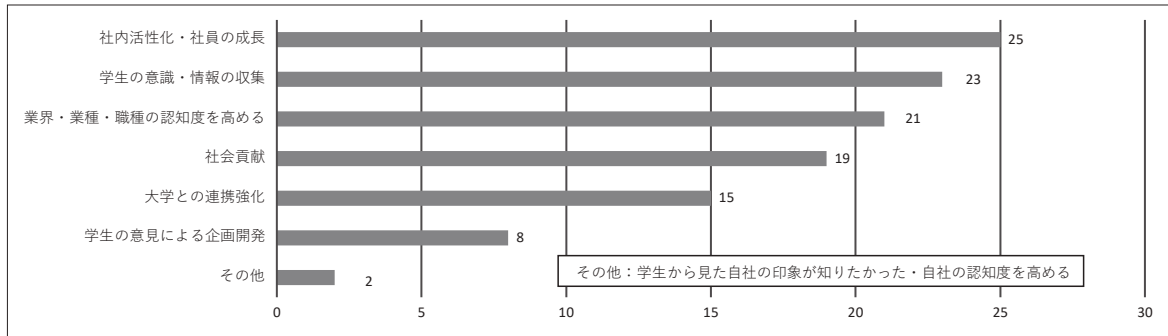
### 4. コロナ禍における実習生受け入れにおいて、従来と変更した点や工夫した点

- 毎日の手指消毒と検温。
- 広く風通しの良い会議室を使用、人数を制限、部屋の換気をこまめにする、CO<sub>2</sub>濃度を測る、手指の消毒、パーティションの導入、学生の毎朝の検温など。
- PCR検査の実施。
- 実習生に体温報告をしていただいたり、部屋の換気、入口に除菌シートやアルコール消毒液を配置。また、座席の間隔を2m弱あけて対策を行った。
- 毎日の体調確認（検温）、マスクの着用、手指の消毒、グループワークの際は、対面に間仕切りを設置。
- 感染リスクをできるだけ避けられる業務内容を受け入れ所属にて検討し、実習していただいた。
- 感染予防と健康確認を徹底したのと、一定のまとまった業務を体験してもらうように心がけた。
- できるだけリモートでも双方向で情報が伝わるよう機器を活用した。
- 対面実習からリモートに変更したため、一方的な説明にならないよう学生同士の意見交換の時間を取り入れた。
- 事前説明会を実施（リモート）、対面時に近いプログラムの仕掛け、オンラインの長所を生かした仕掛け。（例：社会人の遠隔参加）
- 初日に豊中市役所へ取組みを聞きに行く機会を設けていたが、それがリモートになったため、オリエンテーションも含めて初日のみリモートとした。
- 完全リモートでの受け入れにあたり、学生同士で関われる場面を多く設定するようにした。（対面だと自然と関わり合う場面ができるが、リモートでは意識して場を設定する必要があると感じる。）
- Zoomと同時編集可能な情報共有シート（Google）を使用し、リモート実習の中でもリアルタイムのグループワークを進めた。実習日誌においても情報共有シートとしたため、「記入→提出→その日の担当者→コメント記入→返却」のタイムロスがなくなった。
- 感染対策以外では、外出して関連施設の見学が実施できなかった。
- 複数名での実習ではなく、1名1課での受入とした。グループワークは最終日1回のみにした。
- 対面からリモートへ変更し、プログラムも修正を行った。
- 出社だけでなく在宅での作業を認めた。
- 講義形式を基本とし、別途自宅で自主研修する日を設定した。



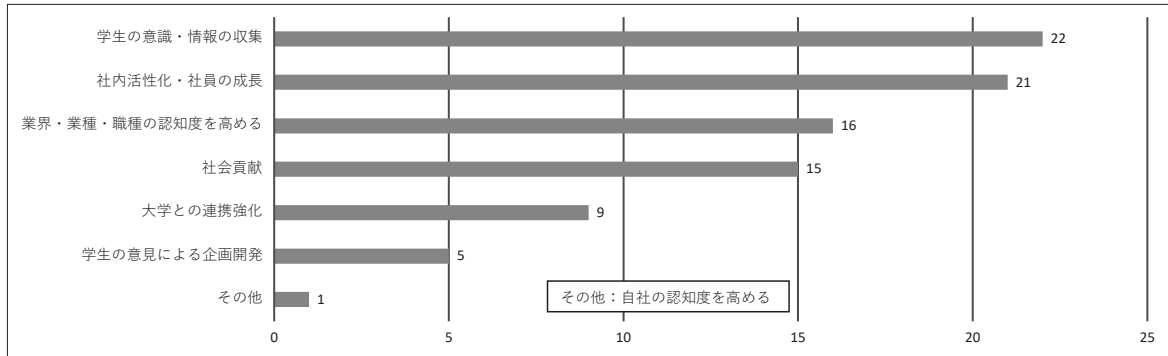
## 5. 実習生を受け入れた理由やインターンシップに期待したこと (複数回答可)

単位：件



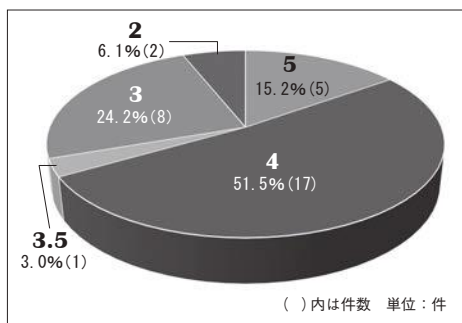
## 6. 受け入れ後、実際に得られた効果 (複数回答可)

単位：件



## 7. 今回のインターンシップに関する満足度について

【全体】



⇒ その理由

【満足度5・4】

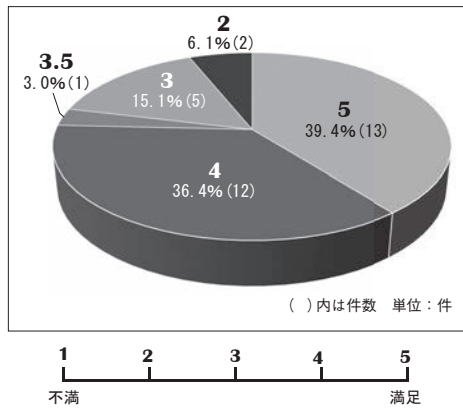
- ・みなさんががんばってくれた。
- ・学生の意識が高いと感じた。伝えたい情報が一定程度伝わった。
- ・昨年に引き続き、学生の生の声を聞く機会が減っているため、その場を設けられることができたのはよかった。また、予定していた業務を遂行することができた。
- ・コロナの影響があるなかで、学生が積極的に取り組んでくれた。
- ・大学コンソーシアム大阪事務局より、スムーズに分かりやすくご対応いただいた。
- ・コロナ禍においても、工夫しながら受け入れでき、従来のグループワーク中心の実習より、より実際の業務に近いものを体験していただけた。職員にも、よい刺激になった。
- ・一番は社内での活性化です。これは非常に大きな影響があったと思う。
- ・インターンシップの担当者を新入社員に任せていたため、良い経験となった。

- ・社内活性化ができたが、通常業務に多少影響が出た。
- ・学生が参加してよかったと言っており、会社について少しでも興味を持ってくれたようだった。
- ・弊社の人材育成が一番の目的なので、毎年参加することで従業員に工夫が見られるようになってきたため。実習生2人のキャラクターと覚えるスピードが全く違ったことにも対応してくれた。また、少し日程でのトラブルがあったが、実習生2人も真面目に最後まで学んでくれた。
- ・事務所にとって刺激になり、学生への業務説明等が仕事の振り返りになった。また、学生のPCスキルが高く、業務にとって役立った。
- ・施設を知っていただき、興味を持っていただけた。
- ・学生に理解を深めてもらえたと感じた。また、学生からも最近のコロナ禍での状況を聞かせてもらった。
- ・リモートでもインターンシップの内容を充実させることができた。
- ・リモートはどうしても一方通行になりがちだが、一緒に場作りをしようという意識で取り組んでくれる学生が多かったおかげで、双方向のコミュニケーションが取れ、お互いにとって有意義な時間になった。
- ・リモートの中で、学生・企業側ともしっかりと双方で効率的に動けるようにプログラムができたと思うので、その点を改善したい。
- ・リモートであったが、十分に学生とコミュニケーションがとれた。
- ・リモート実施についての課題も見つかった。

【満足度3・2】

- ・リモートを余儀なくされた。
- ・2チーム制により学生への実習内容に差ができてしまった。ただし、リモート実習の可能性は広がった。
- ・サービス業であるため、やはり現場体験を通して接客の楽しさを知っていただきたかった。
- ・実習生ははじめに頑張っていたが、基礎的な理解力としてはもう少し期待したいところがあった。
- ・参加学生二人が体調不良を訴えたことで、インターンシップが計画通りに進まなかった。

## 【実習生】



### ⇒ その理由

#### 【満足度 5・4】

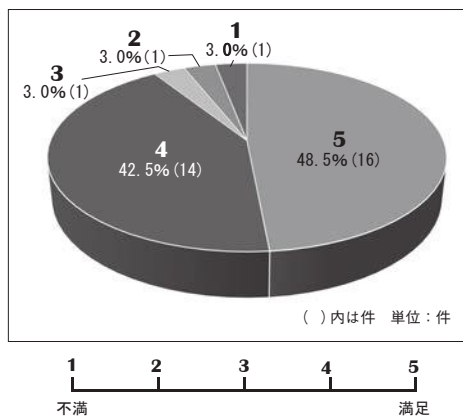
- 毎日 4 時間のリモートに対して、脱落者が一人も出なかった。
- 積極的に質問・発言する姿勢が好印象だった。
- 真面目で、真剣に業務を行っていた。
- 事前に不明点も電話で確認いただいたりと、積極性が見てとれた。こちらの意図を把握したうえで、業務を遂行してくれていた。
- どの実習生の方も熱心に取り組んでいた。
- 基本的なビジネスマナーもあり、非常に前向きな姿勢であった。
- 一生懸命、前向きに実習に取り組んでくれた。
- 素直で、粘り強く対応してくれ感謝した。
- 非常に意欲的で能動的、かつ素直な方ばかりだった。
- 事前にはっきりと準備してきた事が見てとれた。実習中も主体性を持って取り組んでくれた。
- 4 日間で各事業所の体験をしていただいたが、知ろうとする姿勢が感じ取れた。

- こちらが指導したことに対して軽く反発することはあったものの特に問題はなかった。
- こちらの求めているレベルをリモートで伝えることが難しかった。
- 例年の事ではあるがもう一つ積極性のある姿勢が欲しい。
- ほとんどの学生はきちんとマナーをもって参加してくれていたが、一部の学生はマナーというものを本当に知らないのだと思った。
- コミュニケーションに少し難のある子だったために、職業体験より社会で生きていくためのコツを教えることの方が多かった。

#### 【満足度 3・2】

- 遅刻や欠席があった。
- 大人しく感じた。こちらから意見を投げても反応が薄かった。
- リモートは対面よりも目に見える部分が少なくわからないことがある。
- 真面目で熱心な点を高評価、体調管理の不十分さを低評価として総合判断した。
- 学生の認識として課題の提出等の理解ができていなかった。

## 【事務手続き】



### ⇒ その理由

#### 【満足度 5・4】

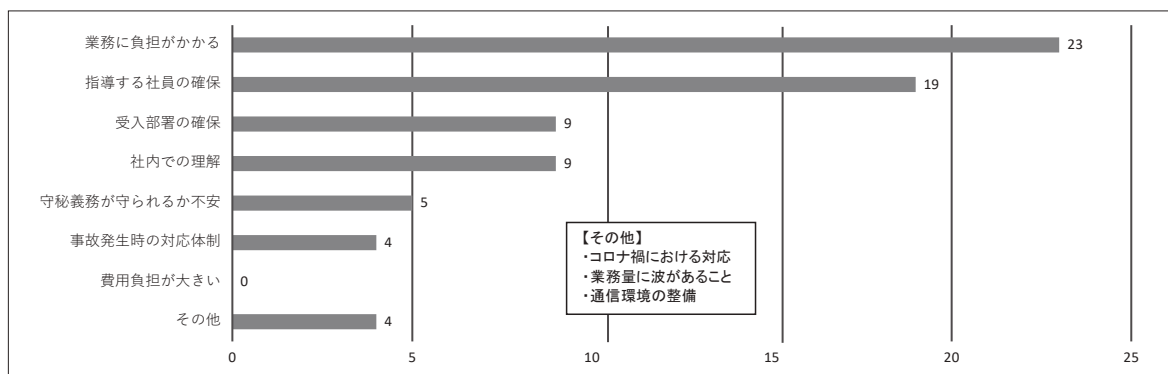
- 非常にスムーズだった。
- こちらが期限に遅れることもあったと思うのだが、リマインドの電話やメールをくれたので、大変ありがたかった。
- 受け入れ側が事前に行う作業があまり多くない。
- 緊急事態宣言発令に対する大学の意向との調整についてサポートがあった。
- 事前のご連絡も常にさせていただき、日誌のデータ入力にも対応いただき、円滑に進んだ。
- コロナの影響で予定の変更等があったが、対応は非常に良かったと感じている。
- ほとんど問題ない。実習日誌のやりとりが煩雑化したことぐらい。
- 学生によって実習日誌・評価表に返信用封筒を付けている学生と付けていない学生がいたので、統一してほしい。

#### 【満足度 3・2・1】

- 学生の予定等を聞いてスケジュールを設定したので、日程調整に手間取った。
- 学生との日程調整、リモートで実施するための準備が大変だった。

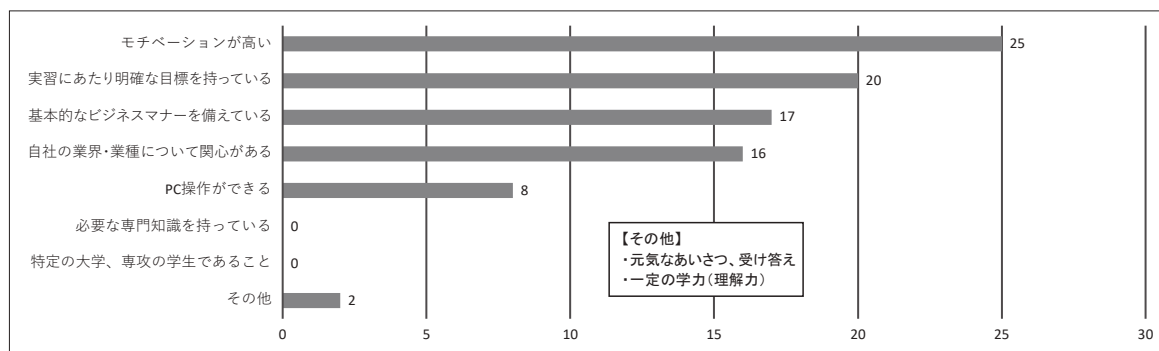
## 8. 実習生受け入れにあたっての課題（複数回答可）

単位：件

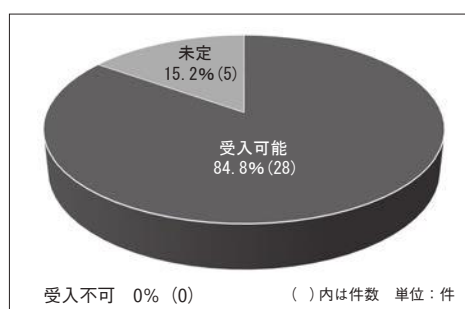


## 9. 受け入れる学生に求めること（複数回答可）

単位：件



## 10. 来年度以降のインターンシップ実習生受入について



## 11. インターンシップ全般に関する感想・意見・要望

- ・当社にとっては非常に有効なインターンシップで、今後も継続して実施していきます。
- ・今後もできるだけ参加したい。
- ・感染症拡大のもとでの効果的なインターンシップを検討したい。
- ・インターンシップの受け入れにより、学生のPC等のスキルの高さがわかり学生像の時代の変化を感じた。
- ・無記名で良いので、実習生の就職後のフィードバックを希望。就職した企業での会議所のイメージ等、特に本音ベースでの会議所に対する意見・希望することなどを希望する。
- ・学生が、一所懸命に課題に取り組み、他の学生と協力しながらインターンシップに取り組んでいた姿が印象に残っている。今回のインターンシップでの経験を、ぜひとも今後の学生生活や就職活動に活かしてほしいと感じた。
- ・事前にお送りいただく参加者の出願票の、学生の情報をもう少し詳細にしてほしい。
- ・リモートで伝えるのは難しい。講義しかできない。
- ・多くの学生は対面での実習を希望している。緊急事態宣言下においても、企業の感染対策状況などを考慮し（本人と大学と企業の合意の基）対面 or リモートの選択ができるようになればいいと思う。

### 出願方法とスケジュール

■ 出願資格：大学コンソーシアム大阪会員大学の学生、系列の短期大学生、大学院生および留学生\*  
\* 研修の受講や企業、団体での実習に支障がない程度の日本語能力を有すること

■ 参加費：無料（ただし、実習の際の交通費やオンライン実習に伴う通信費、食事代等は自己負担）

出願方法～第3志望まで出願できます

- HPで気になる企業・団体をチェック  
 受入要件や実習内容、期間や実習地など詳細をよく確認のうえ志望先を選んでください。  
\* 受入企業名、研修の情報は5月上旬より順次公開予定です。
- 出願票を作成・大学窓口へ提出  
 HP内の出願票作成ページにて、必要事項と写真をWeb登録  
⇒印刷して、在籍大学の担当窓口へ提出  
**出願期間：5月12日(水)～28日(金)**  
\* Web入力は5月27日(木)17:00まで

スケジュール

1 出願期間	5月12日(水)～28日(金)	
2 出願締切	5月28日(金)	Web入力は5月27日(木)17:00まで
3 面接*・選考	6月6日(日)	グループ面接(10:00～18:00で指定された時間)
4 選考結果通知	～6月17日(木)	出願票に登録した住所宛に郵送で通知します
5 実習日程調整	6月21日(月)～30日(水)	実習先に連絡のうえ、日程調整を行ってください
6 事前研修*	7月4日(日)*出席必須	コミュニケーショントレーニング/先輩に学ぶインターンシップ/リクスマネジメント・企業理解/ケーススタディ・目標設定等(予定)
7 実習	8月上旬～9月中旬	1～2週間(実働5～10日間)程度(企業・団体によって異なります)
8 事後研修*	9月26日(日)*出席必須	グループワーク/受入企業講演/グループ発表/交流会等(予定)

\* 実習参加には、事前研修、事後研修への出席が必須となります。  
 自身のスケジュール(試験、アルバイト等)と重ならないよう十分確認のうえ、出願してください。  
 ※オンライン(ZOOM)により行う予定

！ インターンシップ・プログラムの詳細および最新情報は、必ず大学コンソーシアム大阪ホームページで確認してください。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

4 4 8 8

## 2021 就業体験型 インターンシップ・プログラム 参加者募集

この夏、未来をつかめ！

従来の「働く」を考えると、その前にインターンシップで見る世界を広げよう！

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪  
 〒530-0001 大阪市東区船場1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階 キャンパスポート大阪  
 TEL: 06-6344-9560 FAX: 06-6344-9561  
 MAIL: internship@consortium-osaka.gr.jp  
 URL: https://www.consortium-osaka.gr.jp/

詳細は いますぐ検索！

※本プログラムは、大阪府「若者・大企業未来創生事業」に協賛し、その参加企業にも協力を得て実施しています。

### 参加してどうだった？先輩たちの声！

自身を成長させることができた？

できた 95.2%  
 できなかった 4.1%  
 どちらとも言えない 0.7%

インターンシップの経験が今後の進路選択に役立つと思う？

役立つと思う 95.2%  
 役立つと思う 3.4%  
 役立つと思う 1.4%

2019年度 実習先アンケートより

- 社会に出る不安が大きく軽減された
- 他の学生と話せてよかった
- 自分の就活のやり方を考えることができた
- 働く上で大事にしていきたいことや価値観を見出すことができた
- コミュニケーションに、苦手意識がなくなった
- 主体性が伸びた ● 大変濃厚な日々だった

コンソ大阪のインターンシップは3年生はもちろん、1、2年生も参加できるよ

2年生で参加した先輩の声

大塚 結由 さん  
 所属学部 社会福祉法人 実務研修会

Q 参加しようと思った理由は？  
 A 就職活動に向けて、自分がどのような分野を目指せば良いのかを早いうちから探りたい、自分の将来への漠然とした不安を払拭していきたいという気持ちからです。また経験として、受け入れ先の方とのやり取りや、社会人としてのマナーを身につけておきたいと考えました。

Q 早くからインターンシップに参加するメリットは？  
 A 3年生になってインターンシップを行うよりも1割分多く経験を積むことができます。実習の当事者を通して、さらに自分の強みを持ったうえで次年度のインターンシップに臨むことができます。それは自分の自信やスキルアップにも繋がると思います。

Q 困ったことはあった？  
 A 用いた大学の参加者がみなさん3年生だったので、気軽に相談出来る相手がいませんでした。たとえ実習先が異なっても、お互いに相談して高め合うことができるように、友達と一緒にインターンシップに参加するといつもいれませんが、実習後に友達同士で経験を語り合うことで客観的にフィードバックなどもできると感じます。

Q 参加を検討している人に一言！  
 A 就職活動や教育実習などに向けて、早いうちから準備を進めておくことに思いはありますが、自分に自信を持って、経験を積み重ね、社会人としてのマナーを身につけることができます。また、突然と「働く」とはどういうことなのかを知りたいという理由でも構わないと思います。少しでも参加してみたい意欲のある方はぜひこの機会に参加してみてください。自分自身が将来よりよく社会で輝ける方法を見つけることができると感じますよ！

### インターンシップに興味ができた？なら、実際にプログラムを体験した先輩に、わからないこと聞いちゃおう！

## インターンシップ・プログラム説明会

日時 A 5月12日(水) 18:00～19:30  
 B 5月15日(土) 10:30～12:00

場所 オンライン(ZOOM)

内容 プログラム説明・先輩体験談・質疑応答など

申し込みはこちらから

※定員あり/先着順/定員になり次第締め切ります

ポイント3つ！

Point 1 バリエーションに富んだ受入先で実社会がしっかり体験できる！  
 コンソ大阪のインターンシップの受入先は、地元に関連した企業や公的機関が充実しています。  
\*2021年度は受入企業・団体により、実地研修や少人数限定のオンラインによる実習を行う場合があります。

Point 2 他大学の学生と交流や情報交換ができる！  
 大阪の様々な大学から実習生が集うので、事前研修や事後研修では学部・学生・専門領域などを越えたメンバーとの交流や情報交換ができます。  
\*2021年度は実習先・オンラインによる交流を行います。

Point 3 大学コンソーシアム大阪による万全のサポート！  
 充実の事前研修で会員大学の教職員コーディネーターがみなさんをしっかりとサポート。安心感と自信を持って実習に臨めます。実習終了後は事後研修で体験を共有し、振り返りを行います。

事前研修

- コミュニケーショントレーニング
- 先輩に学ぶインターンシップ
- リクスマネジメント・企業理解
- ケーススタディ・目標設定 等

事後研修

- グループワーク
- 受入企業講演
- グループ発表
- 交流会 等

※2021年度は事前・事後研修とも原則オンラインにより行います。上記の内容は内容予定です。



# The Consortium of Universities in Osaka



# 2021

特定非営利活動法人  
**大学コンソーシアム大阪**

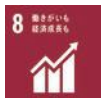
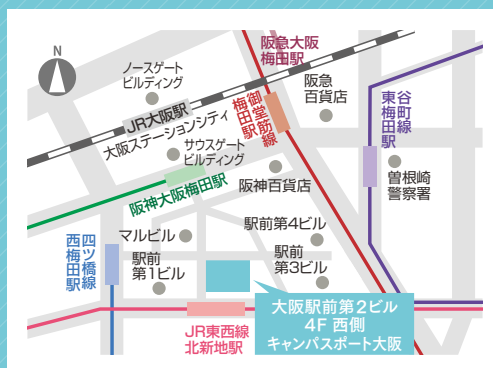
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-400  
大阪駅前第2ビル4F キャンパスポート大阪  
[ TEL ] 06-6344-9560

[ MAIL ] career★conso-osaka.jp

※★を@に変えてください

[ URL ] <https://www.consortium-osaka.gr.jp/>

大学コンソーシアム大阪 🔍 検索



COVER

Designed by stories and pch.vector / Freepik

2021年12月発行